

3月13日からの対策について

マスクを着けることについての考え方を変えます

▽ 2月10日に国の「基本的対処方針」の、「マスクを着けることについての考え方」が変わったので
県からのお願いも同じように変えます。（その他のお願いは続けます）

「マスクを着けることについての考え方」で変わること

3月12日まで

○マスクが必要なとき

外	遠い	近い	部屋の中	遠い	近い
話す	いらない	必要	話す	必要	必要
話さない	いらない	いらない	話さない	いらない	必要

○0才と1才は、マスクを着けるのをすすめません。
○2才から小学校に入るまでの子どもは、マスクを着けるかどうか自由です。

3月13日から

○マスクを着けるか、着けないかは自分で決めます。マスクを着けるかどうかは、国が言っている、「マスクを着けたほうがよいとき」（次のページ）などを見てください。
○ほかの人に対して、無理にマスクを着せたり、取らせたりしないでください。
しかし、仕事でお客様や働いている人に、「マスクを着けてください」とお願いしてもいいです。
○マスク以外の空気を入れ替える、混んでいるところを避ける、距離をしっかりとる、手を洗うなどの、感染を防ぐ対策はこれからもお願いします。

○0才と1才は、マスクを着けるのをすすめません。
○2才から小学校に入るまでの子どもは、マスクを着けるかどうか自由です。
○感染が心配で、これからもマスクを着けたい子や親は、マスクをしてもいいです。

3月31日まで *卒業式はマスクを着けなくてもいいです

○一人一人の距離が、十分に取れないときは
マスクを着けるように先生が教えます。
（体育の時や夏はマスクを外します）

4月1日から

○マスクを着けるかどうかは自由です。
感染が広がってマスクを着けたほうがよい時も、児童生徒や保護者（＝親など）等がマスクをするかどうかを決めます。
○これからもマスクを着けたい児童生徒はマスクをしてもいいです。

考え方

赤ちゃんと
小学校に入る
前の子ども

学校

くに い つ 国が言っている「マスクを着けたほうがよい」とき

① マスクを着けたほうがよいとき

こうれいしゃ びょうき ひと
高齢者や病気がある人などがコロナに感染しないように、以下のようなときはマスクを着けることを
すすめます。

びょういん い
・病院に行くとき

こうれいしゃ びょうき ひと にゅういん せいかつ びょういん こうれいしゃし せつとう い
・高齢者や病気がある人などがたくさん入院・生活している病院や、高齢者施設等へ行くとき

あさしごと い じかん こ でんしゃ の あいだ
・朝仕事に行く時間の、混んでいる電車やバスに乗るとき(しばらくの間、そうします。)

せき すわ しんかんせん つうきん こうそく かしきり の
*みんなが席に座ることができる(新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バスなど)に乗るときは、
マスクを着けなくてもいいです。

しんがた かんせんしょう は や こうれいしゃ びょうき ひと こ ばしょ
・新型コロナウイルス感染症が流行っているときに、高齢者や病気がある人などが混んだ場所に行くとき

こうれいしゃ びょうき ひと おお にゅういん せいかつ びょういん こうれいしゃし せつ しごと
・あなたが高齢者や病気がある人などが多く入院・生活する病院や、高齢者施設などで仕事をするとき

② あなたが「熱がある」「せきが出る」「のどが痛い」とき

ねつ で いた しんがた かんせん
・あなたが(1)「熱がある」「せきが出る」「のどが痛い」とき、(2)新型コロナウイルスに感染したとき、

いっしょ す ひと かんせん いえ
(3)一緒に住んでいる人が感染したときは、家にいます。

びょういん い しかた で す とき つ い
・病院に行くなど仕方なく出かけるときは、空いている時に、マスクを着けて行きます。

みやぎけん す ひと ねが みやぎけん ぜん ぶ 宮城県に住んでいる人へのお願い【宮城県全部】

3月13日から

【医療が続けられるようにすること】

- 発生届の対象でない人は、検査キットを使って自分で検査をしたり、陽性者サポートセンターを使います。
- 病院が大変にならないように、救急外来に行く、救急車を呼ぶのは、症状がとても悪い時だけにします。

【感染が広がらないようにすること】

- 部屋の空気を入れ替えたり、手をしっかり洗います。みんなが感染を防ぐ対策をしっかりとします。
- マスクを着けるかどうかは、自分で決めます。ほかの人に対して、無理にマスクを着けさせたり、取らせたりしないでください。
- 感染したときのために、薬や検査キット、食べ物や、生活に必要なものを準備します。
- いつも健康に注意して、発熱・せき・のどの痛みなど、体調が悪いときは家にいます。
- 自分や家族が感染しないように、感染リスクの高いところへはなるべく行きません。感染が広がる行動はできるだけしません。
- できるだけ早くオミクロン株に対応したワクチン接種を受けます。
- 生まれてから6か月から11歳の子どもと保護者＜＝親など＞は、子どもがワクチン接種を受けるかどうか考えます。
- 飲食店を選ぶときは、認証店などの感染対策をしっかりとしている店にします。店の感染対策ルールを守ります。
- 旅行するとき、宮城県の外に行くとき、大きなイベントに参加するとき、感染対策をしっかりとします。行った場所の感染対策ルールをしっかりと守ります。
- 感染者と接触した時は早く検査を受けます。ふるさとに帰る時などで、高齢者や病気がある人などコロナウイルスに感染すると症状がとても悪くなる人に会う前には、検査をします。高齢者施設などを使う人は、一時的に家に帰るときに、いつも検査をします。

※「選ぶ！選ばれる!!みやぎ飲食店コロナ対策認証制度」の認証店